

湘南へドライブ予定の橋本は、給油のためガソリンスタンドに入った。

「いらっしやいませ！」という元気な声が店内に響き渡り、店員の一人が橋本の車を誘導した。

「オーライ、オーライ・・・」手招きで給油機の横まで誘導された橋本は、「ストップ」という合図で車を止めた。

「いらっしやいませ！ 今日はどうなさいますか？」

「ハイオク満タンと洗車をお願いします」

「かしこまりました。お支払はカードですか？ 現金ですか？」

「現金でお願いします」

「洗車の方は、水洗い洗車とワックス洗車がございますが」

「ワックス洗車にしてください」

「かしこまりました」

橋本はガソリンの注入口を開いた。そして、

「たばこの吸い殻、ゴミなどはごいませんか？」という店員の問いかけに、

「あ、この空缶捨ててもらえますか？」と言ってスプライトの空缶を手渡した。店員はそれを受け取ると、

「お客様、洗車の間、中のソファアに座ってお待ち下さい」と笑顔で言った。橋本は店内に入り、自動販売機でセブンスターを買ってソファアに腰掛けた。車

は既に洗車場へと移動させられて、間もなく洗車が始めるところだ。暫くすると、

「白いソアラのお客様！」洗車をしていた店員の一人が中に入ってきた。

「オイルの量がいぶ減っています、色もかなり変わっていますので、そろそろ交換の時期かと思うんですけど、どうなさいますか？」小さなガラス瓶に入った茶褐色の液体をかざしながら店員が言った。

「お願いします。エメレントの交換もしてください」少し考えて橋本は答えた。

「かしこまりました」

それから暫くすると、

「白いソアラのお客様、お待たせいたしました。洗車の方が終わりましたので、お会計の方よろしいですか？ レギュラー満タンとワックス洗車、それにオイルとエメレントの交換で、一万八千三百三十二円になります」

「一万八千三百四十円からお願います」

「一万八千三百四十円ですね・・・お返しが八円になります」

橋本は支払いを済ませると、洗車されたばかりのピカピカの車に乗り込んだ。

「お帰りはどちらの方向ですか？」

「湘南方面です」

「かしこまりました」

店員は走行中の車を止めて橋本を大通りへと誘導し、

「ありがとうございます！ またお越しく下さい」と言って深々と頭を下げた。

「ありがとう！」橋本も軽く会釈をすると、目的地の湘南へと向かった。